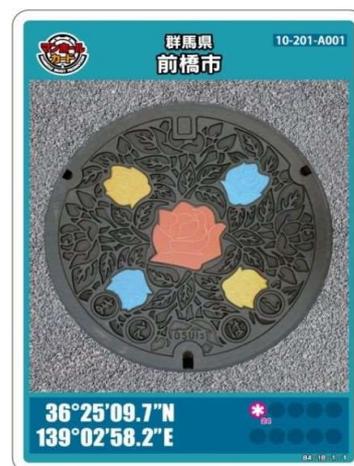
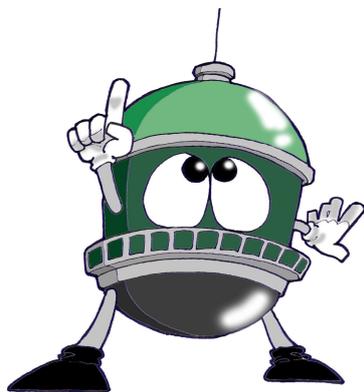


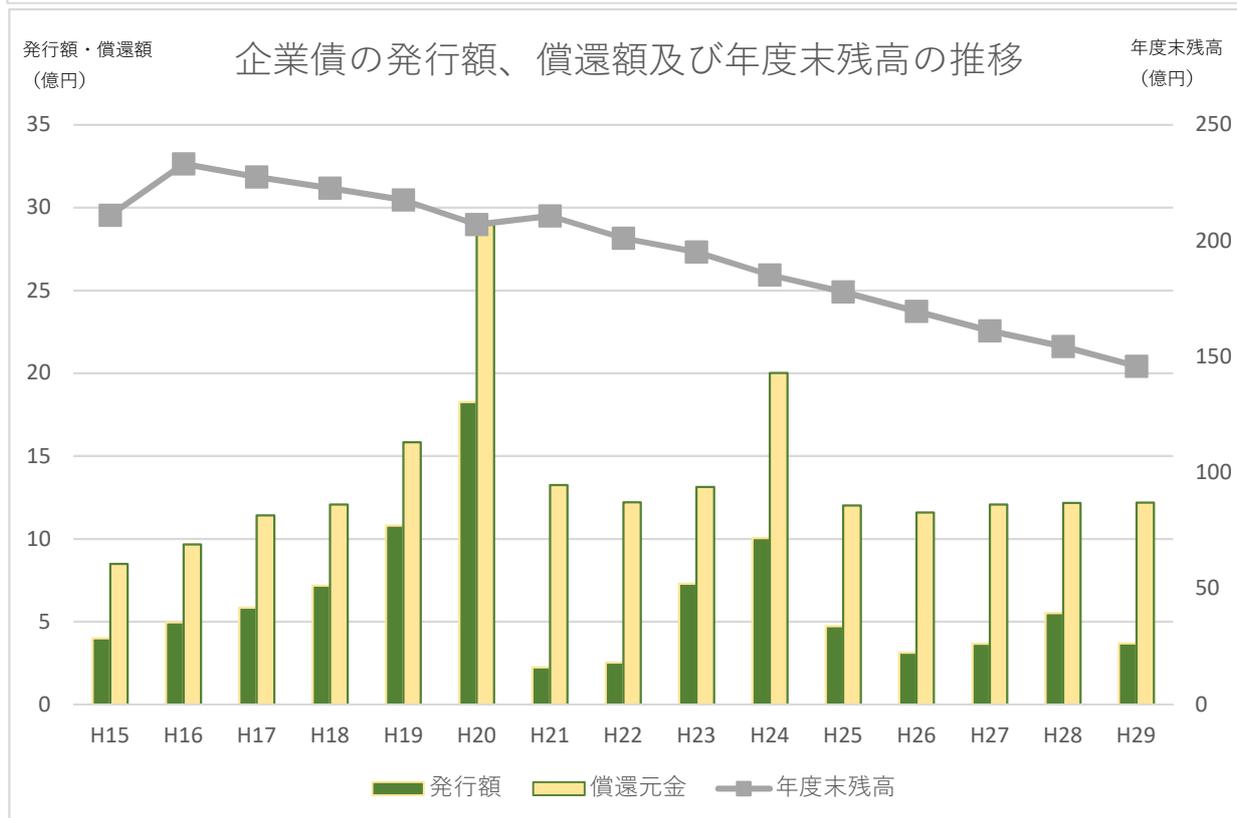
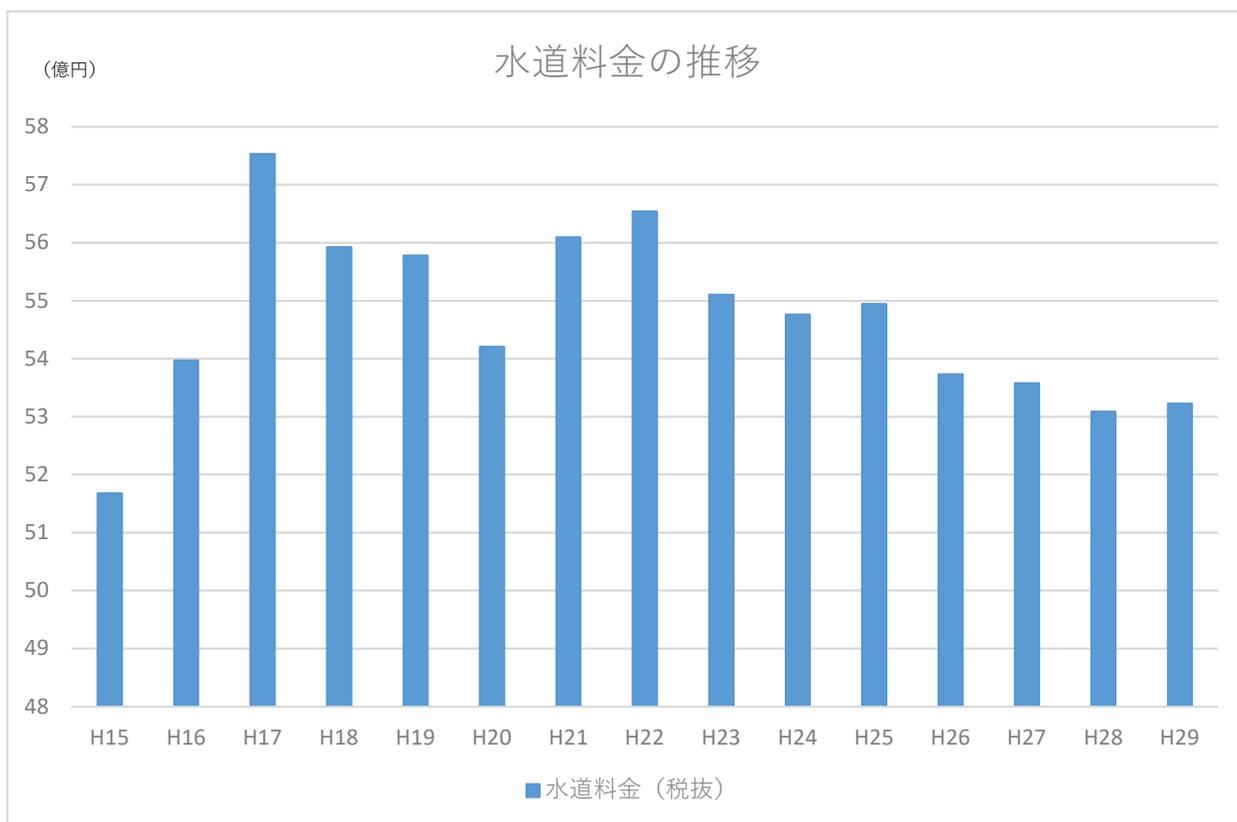
前橋市 水道事業・下水道事業

平成31(2019)年度 当初予算(案)の概要

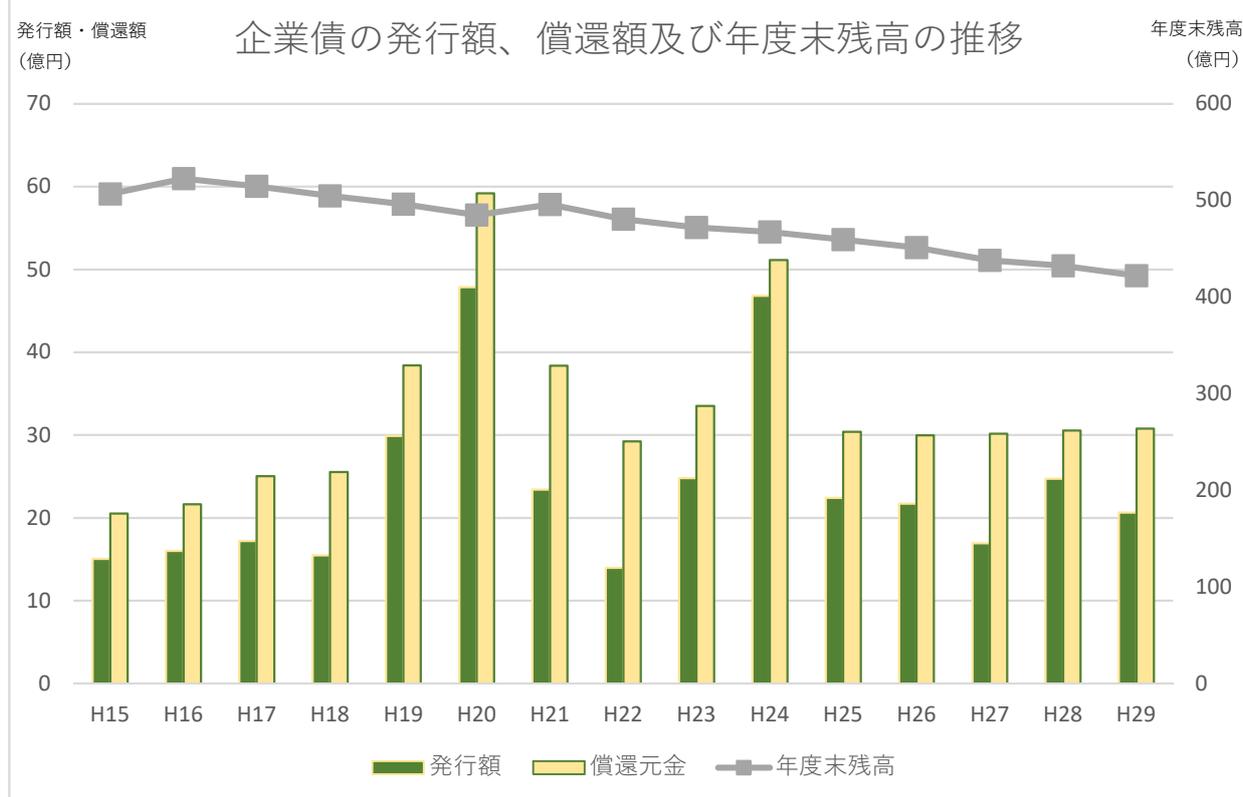
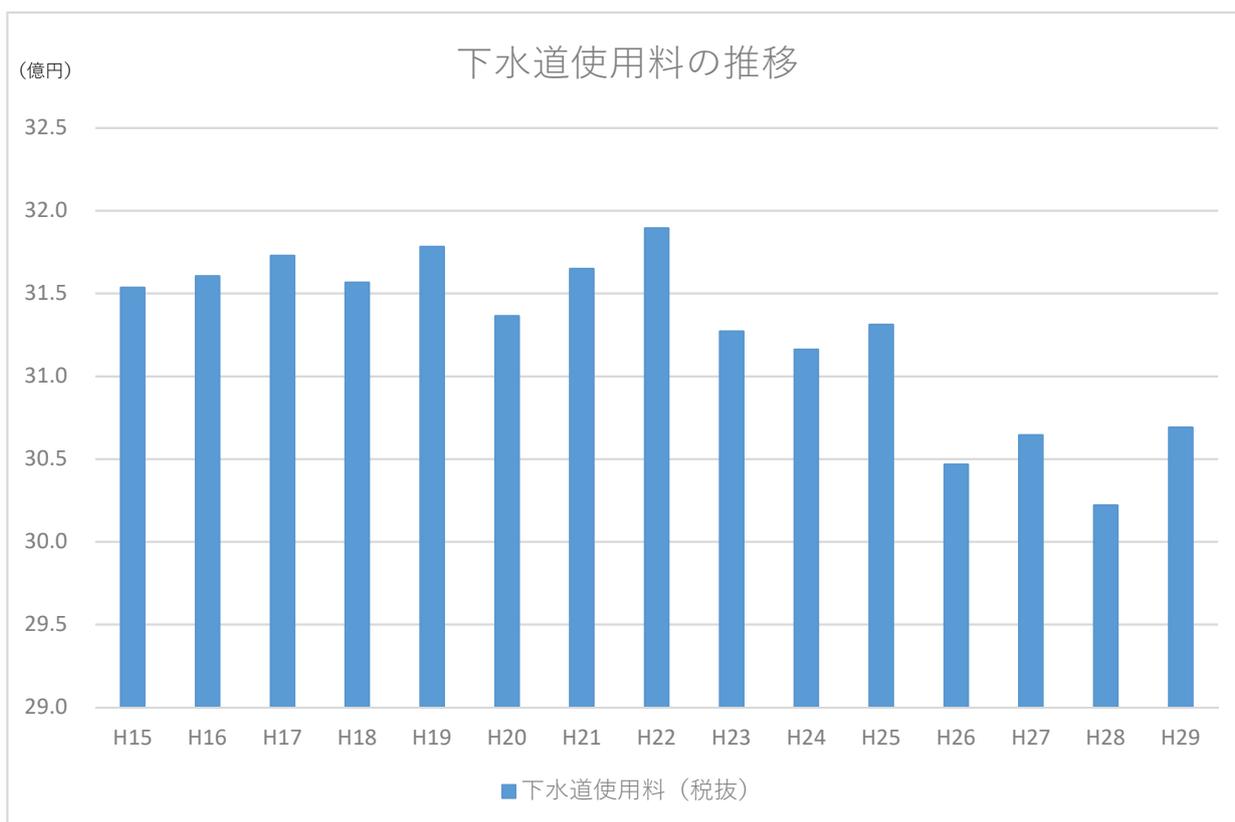
<目 次>

- ・水道料金と企業債残高の推移 … 1
- ・下水道使用料と企業債残高の推移 … 2
- ・水道事業会計の当初予算(案) … 3～4
- ・下水道事業会計の当初予算(案) … 5～6





平成16年度は大胡町、宮城村、粕川村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成17年度～平成24年度に利率の高い企業債の繰上償還や借換を実施した。
 平成21年度は富士見村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成25年度からは、簡易水道事業（湯之沢、三夜沢）を水道事業に統合した。



平成16年度は大胡町、宮城村、粕川村と合併し、企業債を引き継いだ。
 平成17年度～平成24年度に利率の高い企業債の繰上償還や借換を実施した。
 平成17年度から資本費平準化債の借入を実施している。
 平成21年度は富士見村と合併し、企業債を引き継いだ。

水道事業会計の主な事業(平成31(2019)年度当初予算案)

県央水道受水費(18億8,961万円)

◎受水割合の推移

(単位:%)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
自己水	48.5	47.6	48.4	48.5	46.2	45.1	44.3	44.1
県央水	51.5	52.4	51.6	51.5	53.8	54.9	55.7	55.9
内 県央第一	36.4	37.0	37.5	37.8	38.9	39.2	39.6	39.5
内 県央第二	15.1	15.4	14.1	13.7	14.9	15.7	16.1	16.4

※県央第一(単価:50円/m³(税抜))、県央第二(単価:102円/m³(税抜))

【新規】耐震管整備事業(4,430万円)

重要給水施設(防災拠点9か所、災害拠点病院4か所)を災害時でも給水できるように、供給ルート^①の耐震化を図ります。(事業計画は平成31(2019)~41(2029)年度)

【重要給水施設】①群馬県庁②前橋市役所③消防局中央消防署④水道局⑤大胡支所⑥宮城支所⑦粕川支所⑧富士見支所⑨ヤマダグリーンドーム前橋⑩前橋赤十字病院⑪群馬大学病院⑫済生会病院⑬群馬中央病院



配水管の耐震化の様子

【新規】

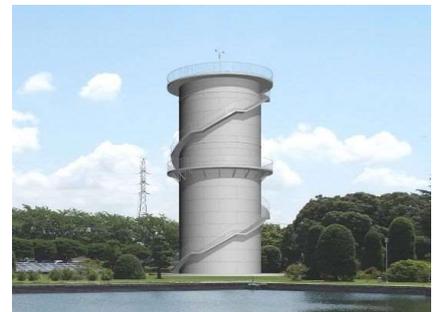
敷島浄水場の新配水塔の築造工事(4億4,000万円)：総額11億円

敷島浄水場の全体の詳細設計(1,500万円)：総額5,000万円

<築造工事・詳細設計とも、平成31(2019), 32(2020)年度の2か年で実施>

現在の敷島浄水場配水塔(水道タンク)にかわる新配水塔を、平成31(2019), 32(2020)年度で建設予定です。新配水塔の建設により、より安全に水道水を供給し、また、災害時に配水塔内の水道水を非常用飲料水として活用します。

同時に、敷島浄水場内のその他施設(配水池、電気室など)の更新工事に向け、詳細設計を発注予定です。

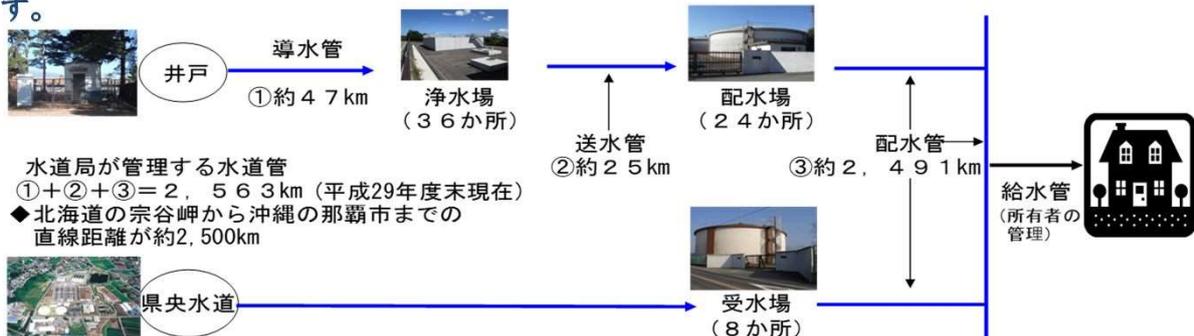


新配水塔の完成イメージ

配水管等改良事業(9億3,052万円)

浄水場施設等改良工事(3億4,834万円)

老朽配水管の布設替工事、都市計画事業や下水道事業など他の事業に関連した配水管の布設替工事、市民の方々からの要望による配水管の新設や水圧増強工事などを実施予定です。また、各浄水場の計装設備改修工事などをはじめとした浄水場施設等改良工事も実施予定です。

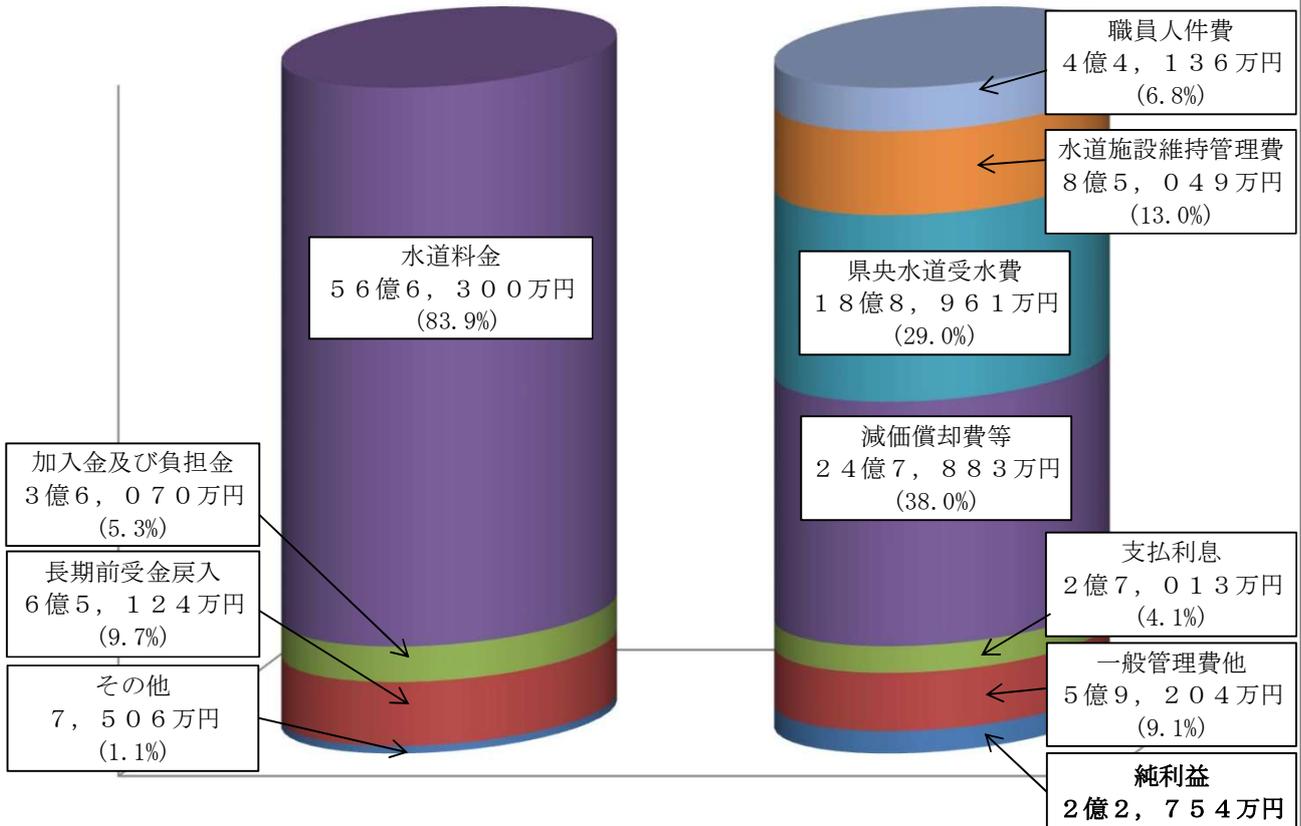


税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

収入合計 67億5,000万円

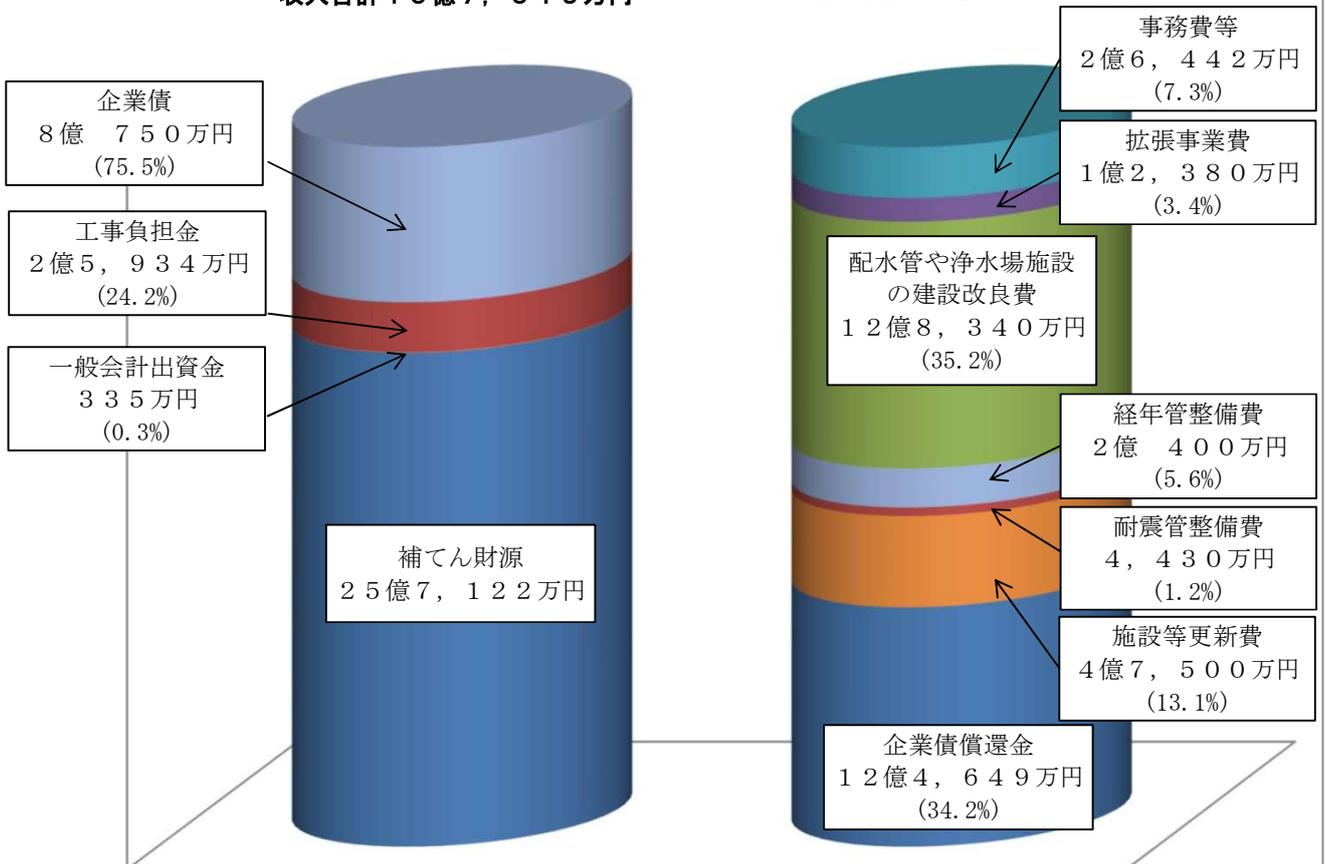
支出合計 65億2,246万円



【資本的収支】・投資的な収支の状況

収入合計 10億7,019万円

支出合計 36億4,141万円



下水道事業会計の主な事業(平成31(2019)年度当初予算案)

処理場・ポンプ場施設の維持管理(11億1,205万円)

水質浄化センター(六供町)は、昭和38年に運転を開始し、現在、処理面積1,171.6ha、処理能力は、84,200m³/日となっています。

また、赤城山大洞処理場は、大沼周辺の47haが処理面積で、昭和63年に運転を開始し処理能力は、1,000m³/日となっています。

なお、中継ポンプ場は市内に10か所設置されており、汚水等を処理場に円滑に流下させるために重要な役割を担っています。

管渠新設事業(11億764万円)

流域関連公共下水道事業計画に基づき下水道幹線及び枝管の管渠布設を行い、快適な生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図ります。

- ・利根西(総社地区)延長180m、面積0.63ha
- ・利根東(上川淵、桂萱、南橘、永明、大胡、富士見地区 他)延長7,750m、面積30.13ha
- ・土地区画整理区域内(駒形第一地区、元総社蒼海地区、富士見町小暮地区 他)の下水道管整備に伴う工事負担金

処理場建設事業(1億7,885万円)

水質浄化センター内の設備機器を更新するとともに、3系耐震補強工事を行います。

- ・2系計装設備更新工事、最初沈殿池かき寄せ機更新工事

【新規】水質浄化センター更新基本構想策定業務(1,628万円)

水質浄化センター更新の基本構想を策定し、更新後の施設全体像や更新スケジュールを検討します。

下水道長寿命化事業(4億3,782万円)

下水道施設の長寿命化計画に基づき、老朽管の改築・更新事業を進めるとともに、下水道施設全体を一体にとらえた下水道ストックマネジメント計画を策定します。

ポンプ場建設事業(3億2,956万円)

天川ポンプ場圧送管地震対策工事の第Ⅱ期工事(平成30年度～31年度)の第2年次を実施します。



◆下水道処理人口普及率

27年度末	28年度末	29年度末	30年度末見込	31年度末見込
70.2%	70.5%	70.9%	71.2%	71.5%

◆H29年度末現在

	前橋市	群馬県	全国平均
下水道処理人口普及率	70.9%	53.8%	78.8%
汚水処理人口普及率※	92.3%	80.5%	90.9%

※汚水処理人口普及率：公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽、地域し尿を含めた普及率



天川ポンプ場圧送管地震対策工事の第Ⅱ期工事で使用している推進機

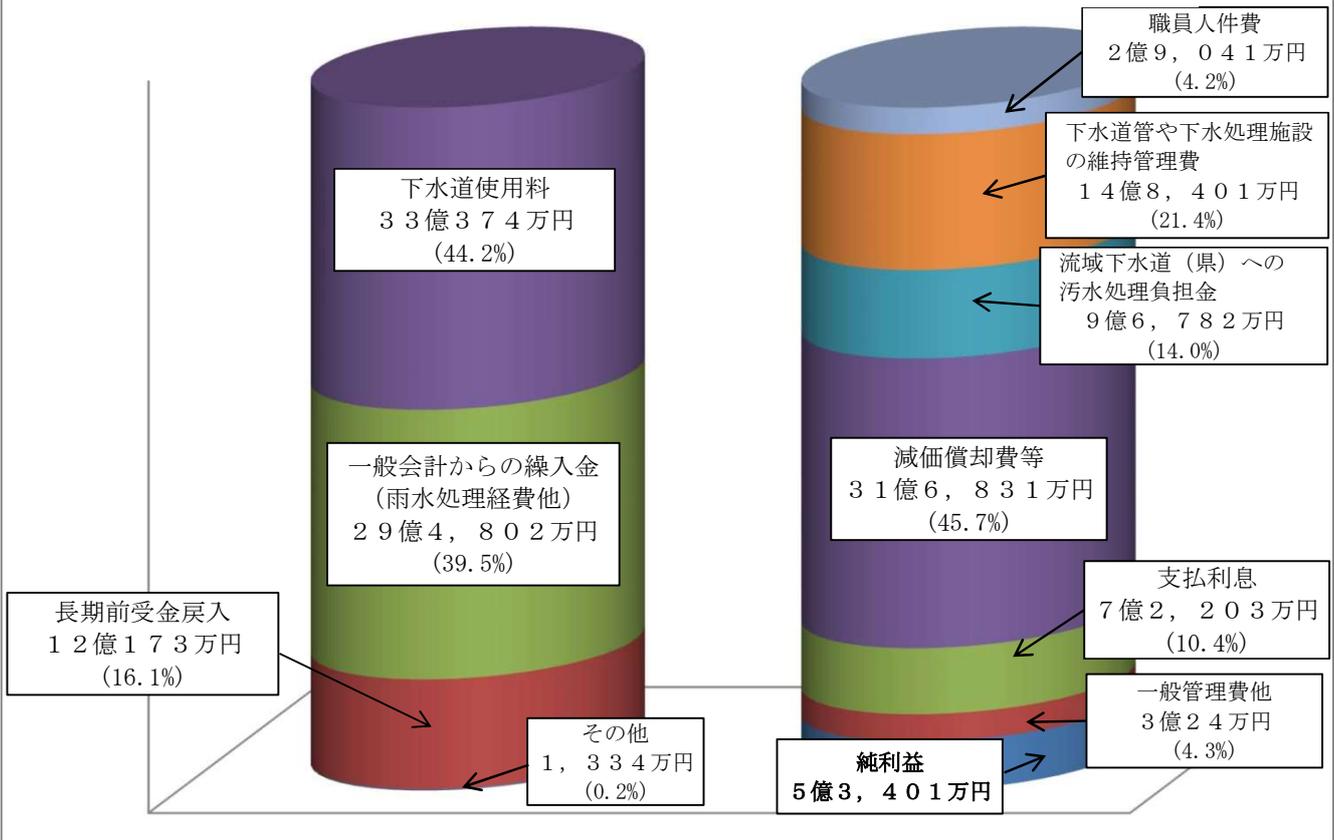
平成31年度 下水道事業会計当初予算の概要

税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

収入合計 74億6,683万円

支出合計 69億3,282万円



【資本的収支】・投資的な収支の状況

収入合計 30億3,936万円

支出合計 56億1,450万円

